

シンポジウム

北浦 正行氏

財団法人 社会経済生産性本部
事務局次長

1973年に一橋大学卒業後、労働省に入省し、各局に勤務。新潟県・経済企画庁への出向、労政・労働基準・職業安定・職業能力開発局の各課長等を経て96年退職。同年(財)社会経済生産性本部に入職して社会労働部長を経て現職。人事労務管理、労使関係、労働政策などを専門に、各種の調査研究や執筆・講演活動のほか、「次世代のための民間運動～ワーク・ライフ・バランス推進会議」を推進。「男女共同参画会議専門調査会」、「仕事と生活の調和連携推進・評価部会」、「再チャレンジのための学習推進委員会」、「介護労働者の確保・定着等に関する研究会」など政府等の各種委員。武蔵大学・日本大学大学院講師(非常勤)。

山田 尋志氏

社会福祉法人 健光園
常務理事

1981年より社会福祉法人健光園に就職。養護老人ホーム勤務などを経て、2000年より高齢者総合福祉施設「ももやま」施設長に。「ももやま」でのユニットケアの導入経験を通して個別ケアを推進するためのチームリーダー育成の必要性を痛感。京都市老人福祉施設協議会会長として、また介護人材キャリア開発機構代表の活動を通して、リーダー育成のための研修の推進・教材の開発、小規模多機能など地域型のサービスの推進、生きがいをもって職員が働き続けられる人材育成や給与システムの整備に取り組む。

馬袋 秀男氏

株式会社 ジャパンケアサービス東日本
代表取締役社長

(株)ダスキン、医療法人財団河北総合病院等を経て1996年6月(株)クロス・ロード設立。代表取締役専務、2006年4月代表取締役社長。(株)クロス・ロードでは、国際品質マネジメントシステム(ISO9001)取得(1999年在宅ケアサービスで国内初)、日本科学技術連盟より日本品質奨励賞TQM奨励賞受賞(2002年医療福祉部門初)。2008年4月(株)クロス・ロードと(株)ジャパンケアサービスとの業務資本提携にともない(株)クロス・ロード代表取締役を退任し(株)ジャパンケアサービス東日本代表取締役社長に就任。

奥川 幸子氏

対人援助職トレーナー・フリーランス

1973年3月 東京学芸大学聾教育科卒業。同年4月より東京都養育院付属病院(現・東京都老人医療センター)に就職。以後24年間、老人医療の現場で医療ソーシャル・ワーカーとして勤務。1984年からグループスーパービジョンをはじめ。全国各地の研修会講師、国際医療福祉大学大学院乃木坂スクール講師、日本社会事業大学専門職大学院客員教授および学習院大学社会学部非常勤講師等として対人援助職のスーパービジョンを展開。「臨床実践家の知」を、臨床哲学者、文学者、芸能者との対話で練り上げた言葉を駆使して描き出す。

小野寺 道子氏

社会福祉法人 東北福祉会
せんだんの杜 生活支援事業部部长

知的障害児施設で4年間勤めた後、子育てで一時職を離れる。1988年に老人福祉施設に就職。1996年より東北福祉会特別養護老人ホームせんだんの杜に就職。認知症の高齢者の方が落ち着いてすごすことができる居場所づくりを追求しているうちに、いつの間にか今日というユニットケア、逆デイサービス、小規模多機能型など、地域のなかでの普通の暮らしを支えるサービスを創り出していた。現在は、法人の高齢者、児童へのサービス全体を統括するスーパーバイザー。

▶ 関心のある方は、どなたでも参加できます!!

詳しくはホームページを
ご覧ください <http://www.nw.fukushi-work.jp/symposium/>

▶ 参加のお申し込みは下記宛にお願いします

- ①氏名 ②性別 ③お住まいの都道府県名
④職業(学生/福祉・介護職/福祉・介護経営者/その他)を明記して

メールの場合 | jinzai-forum@shakyo.or.jp

FAXの場合 | 03-3581-7804 (返信用 FAX 番号をお書き添えください。)

お電話の場合 | **03-3581-7801**

なお、定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

